



BE THE INSPIRATION RI 会長 バリー・ラシン

2018-'19 Weekly Report

2018/ 8/1

3

クラブ会長テーマ 進化の足跡を残そう

第 2372 回例会報告

日 時：平成 30 年 7 月 18 日（水）

会 場：例会場

司 会：S A A

杉田委員

開会点鐘

喜連元昭会長

斉 唱：ロータリーソング「奉仕の理想」

お客様の紹介

喜連元昭会長

本日はいらっしゃいません。

幹事報告

小澤崇文幹事

●地区ポリオプラス委員会より

ポリオ撲滅支援企業の募集 ～寄付のお願い～

一口 5 万円 寄付はロータリアン個人のお名前で送金し、感謝状・ピンバッジの贈呈、地区大会等で企業名の発表を行います。

委員長報告

●秋廣会計理事 17-18 年度会計決算の報告

クラブ運営と奉仕活動の 2 本柱でなっています。(報告) 奉仕活動はニコニコボックスが小澤谷守会長の熱意と人間的魅力によるのかと思いますが、結果として次期への繰越が多くなりました。(その他基金の状況説明と監査の報告) 実績のある良い会計ができました。

●鈴木親睦活動委員長 納涼家族例会について

7/23(月) 出発時間の再確認、その他昼食・工場見学についての注意事項。競馬場ではまだ暑い時間帯ですので、各自対策をしてください。

ニコニコBOX

山岡親睦活動委員

●喜連元昭会長 半端無い酷暑で出席率にも影響が出ていますが、お互いに身体には留意しながら今年の夏を乗



▲川崎競馬場には午後 4 時に入場。バーベキューは 5 時からなので、それまでメインスタンドの前で待機。記念撮影は逆光で顔の判別ができないので、この写真が唯一競馬場の雰囲気を残すものになった。後ろに冷房が効いた指定席などが見える。

り切りましょう。本日から各担当理事・委員長の就任挨拶が始まります。足跡の残せる抱負をよろしく願います。

●小澤崇文幹事 猛暑が続きますが、皆様御自愛下さい。危険なほどの熱さですから。

●川向会員 マニラのマカティで 1 ヶ月勉強してきました。やっとインターミディエイト(日常生活ができる)テストをクリアしました。次もまたいきます。

*ニコニコ BOX 合計 17,000 円 累計 204,000 円

出席報告

小川出席奨励委員

7 月 18 日 在籍 48 名中 出席 35 名

前々回(7 月 4 日) 出席率 97.73%

閉会点鐘

喜連元昭会長

Rotary



RI 第 2750 地区 多摩中グループ

東京国立ロータリークラブ

会長 喜連 元昭

幹事 小澤 崇文

例 会 日：毎週水曜日

例 会 場：谷保天満宮社務所 2 階 東京都国立市谷保 5209

事 務 所：東京都国立市谷保 5234-1 TEL:042-575-0770 FAX:042-572-8666

E-MAIL: kunitachi-rc@sage.ocn.ne.jp WEB: http://kunitachi-rc.com/

会報委員：岡本 貞雄・平川 貴弘・遠藤 直孝・千葉 伸也

理事・委員長就任挨拶

■会長エレクト

遠藤常臣

来年の今頃喜連会長のように会長の襟を掛けて挨拶をしているのかと思うと足が震える思いがします。来年度は50周年の後で、今年・来年は喜連幹事もいますので、気楽な気持ちでできると思います。よろしくお願いします。



*

■会員組織委員会理事

村上隆秀

喜連年度は、創立50周年の年にあたり、皆様方のご協力をもって、会長の目標としている会員数を50名以上に、近藤委員長のもとで頑張っていきたいです。また、吉野ロータリー情報委員長のもと、ロータリークラブの会員としての基礎的な知識や楽しいロータリーライフの過ごし方を、委員会とともに追求していきます。よろしくお願いいたします。



*

■会員増強委員長

近藤佳子

ロータリーは会員の強化が一番大事で、単なる知人から生涯の友人となるようなロータリアンを集めて良い会になる為には、皆様のご協力が必要です。推薦をいただければ、増強委員会で走り回ってお願いにいきますので、よろしくお願いします。また退会防止にも努め、ロータリーの理解を一般の方にも広めなくてはいけないと思います。ご協力をお願いします。



*

■ロータリー情報委員長

吉野利春

本年は親睦を図りながら情報を共有できる夜間例会を今年度中に企画したいと思っています。毎月発行の「ロータリーの友」は、世界・日本国内のロータリー情報が掲載されていますので、是非お目通しいただいて、今後のロータリー活動にお役立ていただきたいと思います。本年もよろしくお願いします。



■クラブ広報理事

木島常明

R I ・地区ともに広報という言葉は使っていません、公共イメージをアピールしてロータリーをもっと強硬なものにしようというのが最近の流れでございます。広報委員会としても、ホームページの充実を図ってより活発なロータリークラブを市民にアピールする事が第一の使命ではないかと思っています。増強に繋がれば越したことはないと思います。



また、ロータリーアプリ・MyRotaryの活用も含めてより活発な活性化に寄与して参りたいと思っています。よろしくお願いします。

*

■クラブ管理運営理事

山崎義晴

クラブ管理運営のS A A委員会・親睦活動委員会・プログラム委員会・出席奨励委員会・クラブ会報委員会の5つの各委員会を担当します。同じ情報を共有して、充実したクラブ運営ができるようにサポートできるように頑張っていきますので、一年間よろしくお願いいたします。



*

■親睦活動委員長

鈴木政久

親睦活動委員が協力しあい、会員の親睦を深め、会員家族と共に、多くの方が参加できるようにしたい。事業計画として、納涼家族例会7月・スポーツ家族例会9月・年忘れ家族例会



12月・親睦旅行2月にグアム地区大会に合わせて、50周年事業とともに実施します。会長・幹事と皆様のご協力のもとに進めていきます。会員記念月の記念品を毎月お渡ししていきます。一年間よろしくお願いいたします。

*

■出席奨励委員長

三田幸子

出席奨励委員会の皆で、明るく気持ち良く会員の皆様をお迎えしたいと思います。出席率100%を目指して例会への出席を奨励する活動をしていきます。



事業計画は、出席グッズの準備・片付け、例会での出席報告、例会欠席時の事務局への事前連絡の徹底、メイクアップの徹底として、前回欠席者への声かけ・インターネットでのメイクの仕方の説

明（広報・IT 委員会と連携）、年間 100%出席者への記念品の贈呈を例年どおり行います。出席率を 100%に近づけたいので、E club でのメイクアップの仕方をご説明いたします。ご協力をお願いいたします。

*

■クラブ会報委員長

岡本貞雄

昨年度は「会員に読まれる会報作り」に努力し、プロ仕様の編集ソフトを駆使して紙面を一新しました。

また写真を多用した『フォトアルバム』は好評で、イベントや親睦活動の報告では、今後の会報のスタイルをつくったように思いました。

今年度も、紙面に『遊び』を入れ、一層親しみのある紙面づくりに努力いたします。

事業計画は次のとおりです。

- ①例会の内容を週報で記録し、資料として保存する。
- ②読みやすく、親しみやすい会報づくりに努力する。
- ③ロータリー情報を載せる。
- ④会員の投稿記事を求め、週報に掲載する。

また、昨年度から引き続き、「会員の職場訪問」を掲載いたします。

なお、週報の編集で困難な「テープ起こし」の作業を軽減しようと『音声変換ソフト』の購入を予定していましたが、実用に使えるものがなく断念しました。したがって卓話の内容をすべて週報に掲載することができず、概要だけになりますのでご了承ください。



■プログラム委員長

遠藤直孝

喜連会長のクラブテーマ「進化の足跡を残そう」とあるように、より良い卓話を目指してまいります。またスムーズな卓話を実施する為、委員間、関連する委員会、事務局との連携を大切にしていきたいと考えております。

事業計画として、会員の視野を広げ、知識を深める為、様々な分野で活躍されている外部の方に卓話講師を依頼します。会員相互の理解、親睦の為、会員卓話を依頼します。必要に応じ地区や他クラブのロータリアンに卓話講師を依頼します。慣例に倣い、卓話をお願いした外部講師には謝礼を、会員には粗品を進呈します。卓話の講師探しに苦労いたしますが、皆様のご協力を得まして何とか 1 年頑張りますので、よろしくお願いいたします。

*

■奉仕プロジェクト理事

本間康彦

東京国立ロータリークラブの奉仕プロジェクトとして、奉仕の理想を理念に会員はもとより、広く地域市民に奉仕活動を通して、各奉仕委員会とともにアピールし、意義ある奉仕活動を実践していきたいと思っております。4 つの委員会を取り纏めていきますが、例年どおり、地域の方にロータリークラブ活動を広く PR できるように補助していきたいと思っております。1 年間よろしくお願いいたします。



納涼家族例会

第 2373 回の例会は、7 月 23 日の川崎競馬場 + バーベキューと、花王川崎工場の見学会に振替になりました。

第 2373 回例会報告

日 時：平成 30 年 7 月 23 日（月）

会 場：移動のバス車内

司 会：S A A

開会点鐘

お客様の紹介

村上隆秀会員夫人：真弓様

遠藤直孝会員夫人：直子様

北島正典会員夫人：緑様

寺澤委員長

喜連元昭会長

喜連元昭会長

関 俊之会員夫人：藤子様

北島清高会員夫人：友子様

鈴木政久会員夫人：真紀子様・お嬢様 菜々さん

ニコニコBOX

遠藤久親睦活動委員

●喜連元昭会長 本日の為に周到な準備を頂いた親睦委員・職業奉仕委員の皆様、大変ご苦労様でした。酷暑の中ですが、最後迄 1 人の脱落者の無い様、楽しみましょう。

●小澤宗文幹事 親睦・職業奉仕の皆様、御苦労様です。酷暑の中無事に生還を果たしたいものです。

●杉田会員 暑い中、皆様ご苦労様です。親睦委員会の皆様、宜しく申し上げます。

●内山会員 喜連年度、最初の事業、納涼例会楽しませて頂きます。

●山崎会員 本年度の納涼例会に多数の会員の皆様の参加ありがとうございます。親睦委員会の皆様ありがとうございます。

●岡本貞雄会員 親睦活動委員会の皆さま、今日はお世

話になります。熱中症で迷惑のかからないよう注意します。

●岡本正伸会員・寺澤会員 今年度最初の行事、納涼家族例会楽しませていただきます。親睦活動委員の皆様、宜しくお願い致します。

●本間会員 親睦委員会の皆様、猛暑の中バーベキュー大会楽しみにしています。脱水症状に気おつけます。大いに楽しみましょう。

●木島会員 酷い暑さですね。親睦活動委員の皆さん納涼例会の企画ご苦労さまです。数年前の地引き網、鎌倉金沢八景の例会を思い出しています。熱中症にならない様気をつけましょう。夜を楽しみにしています。

●喜連紘子会員 親睦活動委員会の皆様、本日はお世話になります。バーベキューと競馬を同時に楽しめるなんて初めての体験です。ワクワクしています。

●佐伯会員 納涼例会開催おめでとうございます。親睦活動委員会の皆様、様々なお膳立てをありがとうございます。工場見学は職業奉仕委員長として出席せねばならないところ欠席いたします。申し訳ありません。実り多き楽しい一日となりますようお祈りいたしております。

●小川会員・関重寿会員・遠藤直孝会員・北島正典会員・

長嶋会員・関俊之会員・北島清高会員・遠藤久会員 今日は親睦委員会・職業奉仕委員会の共同事業、花王の工場見学とバーベキューの会、企画ご苦労様です。でも都内では今年最高温度が見込まれています。どうか参加者をバーベキューされないようお願い致します。

●岡本正伸会員・遠藤常臣会員・青木会員・伊藤明会員・川向会員・三田会員 この夏最高の熱暑の中、納涼例会できること、真にロータリアンとしての喜びです。また、川崎競馬でのナイトレース楽しみにしています。親睦委員の皆様宜しく申し上げます。

●親睦活動委員会（鈴木会員・長嶋会員・平川会員・遠藤久会員・山岡会員・二階堂会員）本日は猛暑の中、納涼家族例会へご参加いただきありがとうございます。喉が渇く前に水分補給で体調を崩さぬようお願い致します。

* ニコニコ BOX 合計 77,000 円 累計 281,000 円

出席報告

近藤出席奨励委員

7月23日 在籍48名中 出席35名

前々回(7月11日) 出席率 95.24%

閉会点鐘

喜連元昭会長



日本列島は7月23日、熊谷市など4地点で40度以上の最高気温を記録する猛烈な暑さに見舞われた。気象庁は、子どもや高齢者など熱中症弱者に対し「外出は極力避けるよう」と緊急提言を発表した。

この猛暑の中、クラブ恒例の家族納涼例会『花王川崎工場見学と川崎競馬＋バーベキュー』は予定通りに開催され、会員とご家族は健康管理に注意をしながら、夏の1日を楽しく過ごした。

■花王川崎工場の見学

予定通りバスは12時に国立を出発し、高速道路を走り1時間45分ほどで花王川崎工場に着いた。ここは「浮島町」の地番のとおり埋立地で、対岸に羽田空港が見える。

この工場は東京ドームの2倍の面積がある大きな工場だが、働いている従業員は250名程度だという。ほとんどの作業はオートメーション化されていて、工場



内には人影はまばらである。

私たちは入り口近くのビルの3階にある見学者ルームで、花王製品と工場案内のビデオを見た。

●花王のはじまり 花王初の

製品「花王石鹸」は、1890年に発売された。当時、ほとんどの国産品は品質面で劣っていた。そこで立ち上がったのが、花王の創業者である長



瀬富郎。試行錯誤を重ね、高級化粧石けん「花王石鹸」を発売。当時、化粧石けんが「顔洗い」と呼ばれていたことから「カオ（顔）石鹸」と名づけ、「花王」という文字をあてた。これが社名の由来だという。

●花王シャンプー 昭和

初期に主流だった洗髪料は「髪洗い粉」と呼ばれ、白土に粉石けんや炭酸ソーダを混ぜたものだった。これを少しずつ髪に



こすりつけて洗っていたので、女性の多くが長い髪を油でまとめて結い上げる「結い髪」だった当時、洗髪にはとても時間がかかった。これを一気にラクにしたのが、髪なじみがよく油が落ちやすい、石けんベースの「花王シャンプー」だった。“シャンプー”という言葉が日常語として定着させ、日本人の洗髪習慣を大きく変えた商品である。

この川崎工場は1962年に操業し、作られている製品は「マジックリン」「マイペット」など、私たちが日ごろ使っているものが多い。

その工程は「原材料」→「界面活性剤」→「他の原料とまぜる」→「貯める」→「容器に詰める」→「箱に詰める」→「保管する」→「出荷する」で、そのほとんどがオートメーション化されている。

工場内の倉庫だけは無人で、コンピュータで管理されているので空調がないが、他の工場は冷房が効いていて快適である。そして、工場と工場の間は渡り廊下になっているので、灼熱の屋外に出ないだけでもラッキーだった。（見学時間は1時間45分。見学会を企画した職業奉仕委員会の方々、ご苦労様でした。）

■川崎競馬場

川崎競馬場には4時に着いた。灼熱の太陽は西に傾いてきたが、バスから降りると熱風が体に絡まり付いてくる。正門まで10分程度を歩いただけで汗だくになった。

「競馬は初めて」という人のために、川向会員がバスの中で「競馬の基礎知識」の講義をされた。その内容が



▲川崎競馬場

▲向こう正面の電光板とUR

らして、川向会員は相当に競馬につき込み、そして相当に儲けたようだ。

●川崎競馬場 前身は横浜市の戸塚競馬であり、川崎競馬場は1950年に開催。2001年度以降は神奈川県川崎競馬組合営競馬として開催されている。全国の競馬場で最も敷地面積が狭く、全国の競馬場で唯一、向正面の奥に大型ビジョンが設置されている（設置当初は世界一）。敷地は（株）よみうりランドが所有している。

●国営競馬と地方競馬 国営（中央競馬）は東京・中山・京都など全国に11カ所。地方競馬は川崎・大井・船橋・浦和など、全国に17カ所ある。

駐車場側の入場門の右側にはパドックが見える。そして1号スタンド1階の通路から馬場へ出て驚いた。狭いのである。東京競馬場へ通いつめた者にとっては、川崎競馬場はミニサイズである。何よりも向こう正面のURなどの集合住宅の存在は異質に感じた。

バーベキューは5時からで、その材料や設備は内馬場にセットされていた。内馬場はメインスタンド側とは地下通路で繋がっていて、遊園地やドリンクコーナー、馬券売り場、それに芝生スタンドがある。

なお、芝生スタンドのクッション性抜群の芝は、施設所有者であるよみうりランドのゴルフ場のノウハウを用いた手入れが行き届いている。日が落ちて、満天の星を見ながら芝生に横たえたら、木島会員ならずとも、さぞ気持ちがいいだろうと思った。

●馬券を買う 私たちが競馬場に入場して、しばらくはメインスタンド側にいて、競馬新聞などを参考に馬券を買って競馬を楽しむことにした。



4レースからだったが、馬券をどのように買ったらよいのか分からない。なにせ私は50数年ぶりの競馬なのだ。「単勝」「複勝」「枠連」「馬単」「馬連」「ワイド」「三連単」「三連複」といった馬券の種類は分かっているが、マークシートの記入方法が分からない。そうこうしているうちに4レースが終わってしまった。

レースは30分ごとに12レース行われる。1人で競

馬を楽しんでいた頃には『パドック→本馬場入場→返し馬→馬券購入→レース観戦』の手順で、1日ゆっくりと楽しんだものだが、この日はバーベキューをしながら、ほろ酔いでは馬券売り場への往復もままならなかった。

●**バーベキュー** バーベキューは内馬場のバーベキュー場で行われる。5時、私たちは強い日差しを避け、木陰を選んで席をとった。(高齢者優先)



▲ 大奮闘の親睦活動委員の皆さん

ドリンクコーナーには施設のスタッフがいて、ドリンクのサービスはしてくれるが、バーベキューの作業はすべて親睦活動委員のメンバーが行う。

材料は用意されているとはいえ、大変な労働だ。炭を起こし、肉を焼き、野菜を炒め、焼きそばを焼き、それを各テーブルに運ぶ。感謝、感謝で頭が下がる。そんな中でも、器用な人はヒマを見て飲んだり食べたりして、結構楽しんでいるのが微笑ましい。

●**食べたり、飲んだり、当たったり！**陽が落ちて、気分的にも大分涼しく感じられるころ、ライトに照らされてレースは一層迫力を増してきた。私たちはバーベキューを楽しみながらも、30分ごとの競馬に夢中になった。



▲ 大型ビジョンの前を走る馬

内馬場からはゴール地点はよく見えないので、目の前にある大型ビジョンでレースの展開や着順を確認する。ただ、私たちの席の『向こう正面』を馬が走り抜けるときだけは、競馬の迫力を感じることができる。

ダートコースを蹴って疾走する馬は、土煙を残して通り過ぎていく。どこからか「4番頑張れ～」とか、「8バ～ン」などと掛け声がかかる。

3コーナーから4コーナーと馬は視界から消えて、着順はビジョンで確認する。「入った～」とか「当たった！」など、興奮の声も聞こえてきた。

●**払戻金の記録** 23日の川崎競馬の大穴は、第4レースの三連単の200,020円(590番人気)だった。このレース、単勝3,860円、馬単15,040円、三連複27,160円と飛び抜けて配当がよい。次の高配当は、11レースの馬単6,040円(24番人気)で、これを当てた人が会員の中にいるらしい。

●**記録的な暑さ** 「熊谷41.1度史上最高」。24日の読売新聞朝刊1面の見出しである。2面には「都内初の



会長幹事を励ます会を開催

7月26日(木)午後6時から、クラブ恒例の「喜連元昭会長と小澤崇文幹事を励ます会」を、イタリアンレストラン・千丑茶屋で開催されました。

40度超・熱中症搬送次々」の見出しに続いて、23日の日本列島は各地で記録的な猛暑になったことを伝えていた。おそらく、この夏いちばんの暑さになる可能性が高いようだ。

としたら、このいちばん暑い日に、私たちは『工場見学と競馬+バーベキュー』を決行したことになり、計画した鈴木親睦活動委員長は、随分と熱中症事故を心配されたと思う。

事実、前回の例会で「…競馬場ではまだ暑い時間帯ですので、各自対策をしてください」と注意を促した。また自らの体験として「きのう熱中症の疑いで点滴を打ってきました」という。

●**熱中症の心配** それを聞いて私は怖くなった。あんな仁王様のような鈴木さんが点滴を打つようなら、「熱中症弱者」の私など、とても生きては帰れないように思った。一時はキャンセルも考えたが、レポートを書く使命もあって、予定通り参加することにした。

「体温を上回る暑さは健康の人にとっても危険」という記事が新聞にも載っていた。老人は「健康の人」ではなく、子どもや持病のある人などと一緒で『熱中症弱者』と呼ぶらしい。

私も「皆さんに迷惑がかからないように」と、用心をしながら行動したことで、なんとか無事に国立に帰ってくることができた。親睦の皆さん、お気遣いありがとうございました。
*文・岡本(貞) 会報委員長

